

# 熊本県内経済情勢報告

令和6年8月

財務省九州財務局



九州財務局に関する情報はこちら！！



ホームページ



X(旧Twitter)



Facebook

(問い合わせ先)

財務省九州財務局経済調査課

TEL 096-353-6351 (代表)

ホームページアドレス

<https://lfb.mof.go.jp/kyusyu/>

## 1. 総論

【総括判断】「県内経済は、物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに回復している」

項目	前回（6年4月判断）	今回（6年7月判断）	前回比較
総括判断	緩やかに回復している	物価上昇の影響がみられるものの、 緩やかに回復している	→

（注）6年7月判断は、前回6年4月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに回復している。生産活動は、海外経済の減速などの影響がみられるものの、緩やかに持ち直している。雇用情勢は、持ち直している。

【各項目の判断】

項目	前回（6年4月判断）	今回（6年7月判断）	前回比較
個人消費	緩やかに回復している	物価上昇の影響がみられるものの、 緩やかに回復している	→
生産活動	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	→
雇用情勢	持ち直している	持ち直している	→

設備投資	5年度は減少見込み	6年度は減少見込み	→
企業収益	5年度は減益見込み	6年度は増益見込み	↗
住宅建設	持ち直している	足踏みの状況にある	↘

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、回復していくことが期待される。ただし、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

## 2. 各論

### 【主な項目】

#### ■ 個人消費 「物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに回復している」

百貨店・スーパー販売は、物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに回復している。コンビニエンスストア販売は、堅調である。ドラッグストア販売は、食料品を中心に好調である。ホームセンター販売は、弱含んでいる。家電大型専門店販売は、横ばいの状況にある。乗用車の新車販売は、一進一退の状況にある。宿泊は、堅調である。

(主なヒアリング結果)

- 宝飾・美術品などの高額品及び台湾・中国客を中心に免税売上げが引き続き好調である。(百貨店・スーパー)
- 鶏・豚肉は底堅く推移しているものの、牛肉は単価が高いことから避けられている。またプライベートブランドは好調が続いており、ナショナルブランドとの比較購買で売上げが伸びている。(百貨店・スーパー)
- お得感のある商品キャンペーンを実施し好調であった。また、高価格帯より安価な商品が選好される状況もある。(コンビニエンスストア)
- 医薬品や化粧品のほか、取扱店舗を増やしている食料品の売上げが好調である。(ドラッグストア)
- 買上げ点数が昨年を下回っており、購入する総額は決めているので無駄なものは買わないという購入姿勢がうかがえる。(ホームセンター)
- 物価高により来店客数は前年を下回るものの、気温上昇の影響で季節商品が好調に推移している。(家電大型専門店)
- 出荷停止解除を受けて少しずつ台数は増えており、7月は登録・受注台数ともに前年並みとなる見込みである。(自動車販売店)
- 物価高による出控えの動きのほか、昨年ほどの需要の高まりはなく、足下、国内客は減少傾向にある。(公的機関)
- 夏休みシーズンに向けて、国内客、インバウンド客ともに予約は順調に入っており、今後も好調な状態が続くとみている。(宿泊施設)
- 物価上昇に伴う値上げによりメニュー単価を上げているものの、来店客数は落ちていない。(大型商業施設)

#### ■ 生産活動 「緩やかに持ち直している」

汎用・生産用機械は、半導体製造装置を中心に増加している。食料品等は、外食向け需要が堅調なこともあり、持ち直しつつある。電子部品・デバイスは、海外経済の減速などの影響がみられるものの、高付加価値製品を中心に高水準を維持している。化学は、横ばいの状況にある。

- 最先端以外の半導体製造装置の需要が続いているほか、今年後半からはパソコン・スマートフォンの需要回復などにより最先端向けの生産が増加する予定。(汎用・生産用機械)
- 外食産業向けは、コロナ禍前には戻っていないものの昨年よりも良い状況。(食料品等)
- 海外向けは、中国の不動産市況の低迷などから民生用の受注が弱い。国内向けは堅調に推移しており、省エネ性能の高い製品へのニーズが高い。(電子部品・デバイス)

#### ■ 雇用情勢 「持ち直している」

有効求人倍率は、このところ低下している。新規求人数は、前年を下回っている。企業の人手不足感は、高い状況が続いている。

- 物価高による高齢者の求職増や、賃上げの動きを受けた転職希望者の増加により有効求人倍率は低下しているものの、半導体の在庫調整局面が変化しつつあり、将来を見据えた人材確保の動きがみられる。(公的機関)
- 飲食サービス業などでスポットワークを活用する企業は増えている。(労働者派遣業)
- 人手不足対策として、タブレットや配膳ロボットの導入が進んでいる。(飲食業界団体)

#### ■ 設備投資 「6年度は減少見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」6年4-6月期

- 製造業、非製造業ともに減少見込みとなっている。

#### ■ 企業収益 「6年度は増益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」6年4-6月期

- 製造業、非製造業ともに増益見込みとなっている。

#### ■ 住宅建設 「足踏みの状況にある」

- 新設住宅着工戸数(6年3月~5月)をみると、持家、貸家、分譲住宅いずれも前年を下回っている。

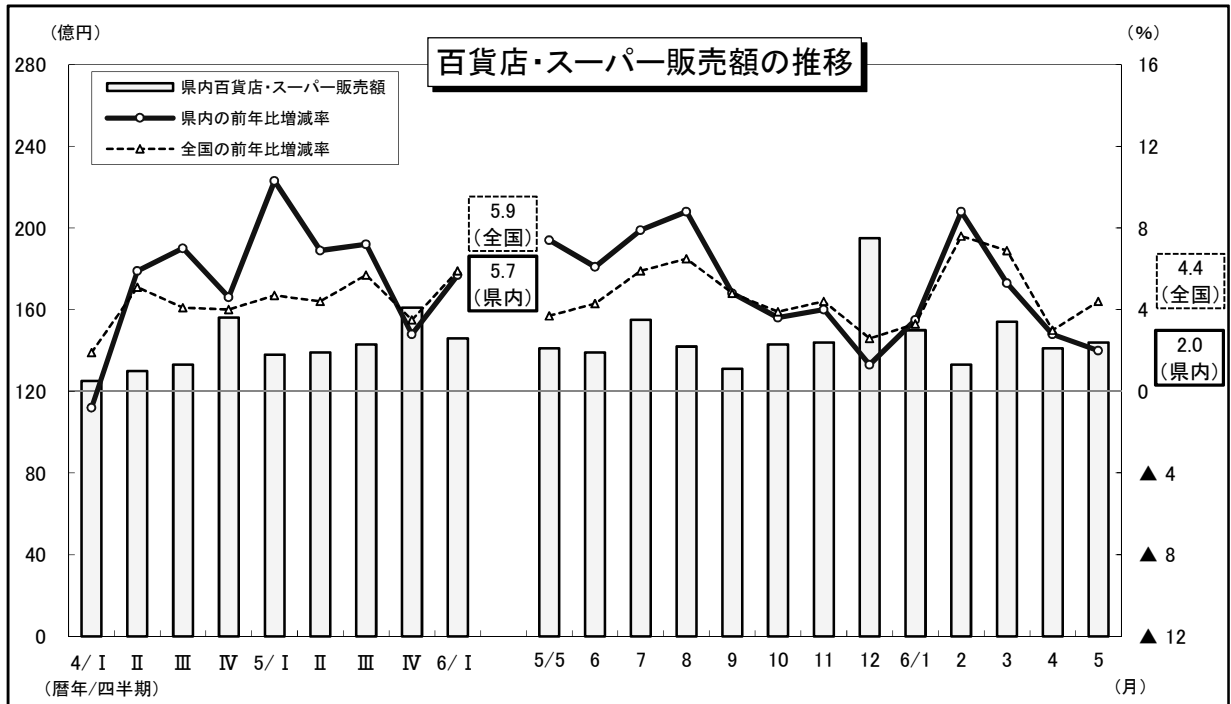
## 【その他の項目】

- 企業の景況感 「現状判断は『上昇』超」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」6年4-6月期
  - 6年4~6月期の景況判断BSIをみると、全産業では「上昇」超となっている。  
先行き(全産業)をみると、6年7~9月期は「上昇」超の見通しとなっている。
- 公共事業
  - 公共工事請負金額(6年4~6月累計)をみると、前年度を下回っている。
- 倒産
  - 企業倒産(6年4~6月期)は、件数、負債総額ともに前年を下回っている。

## 【参 考 資 料】

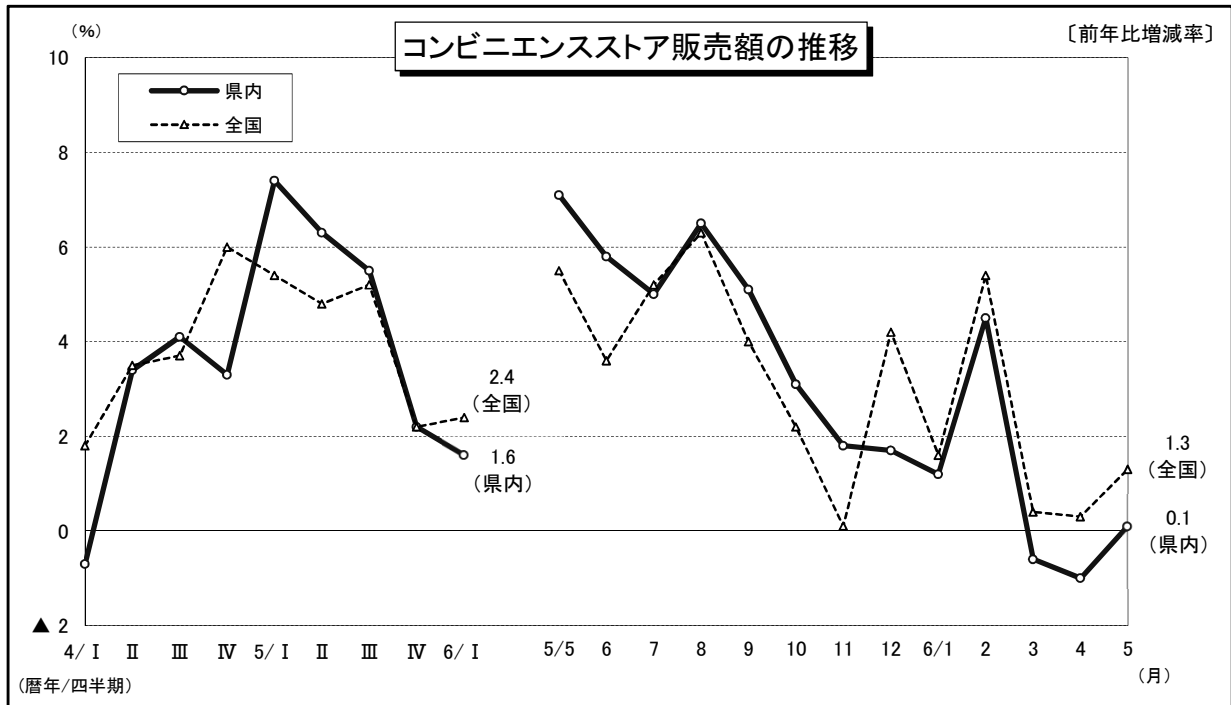
1. 個人消費 .....	参-1
2. 生産活動 .....	参-4
3. 雇用情勢 .....	参-5
4. 設備投資 .....	参-6
5. 企業収益 .....	参-6
6. 住宅建設 .....	参-7
7. 企業の景況感 .....	参-8
8. 公共事業 .....	参-9
9. 倒産 .....	参-10

# 1. 個人消費



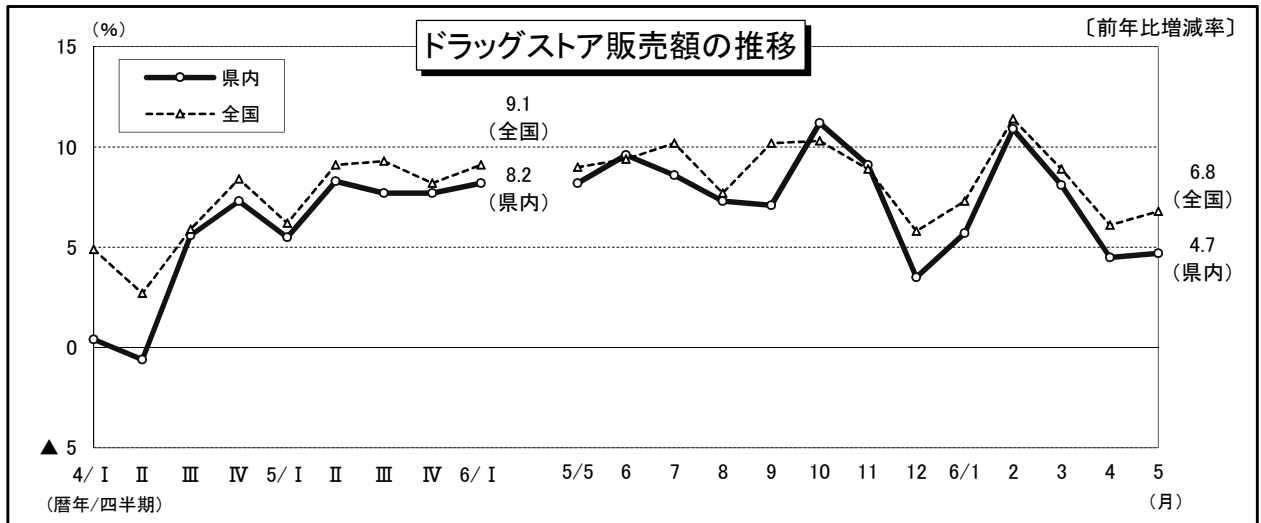
(注)全店ベース。四半期の棒グラフは月平均。

[資料: 経済産業省]



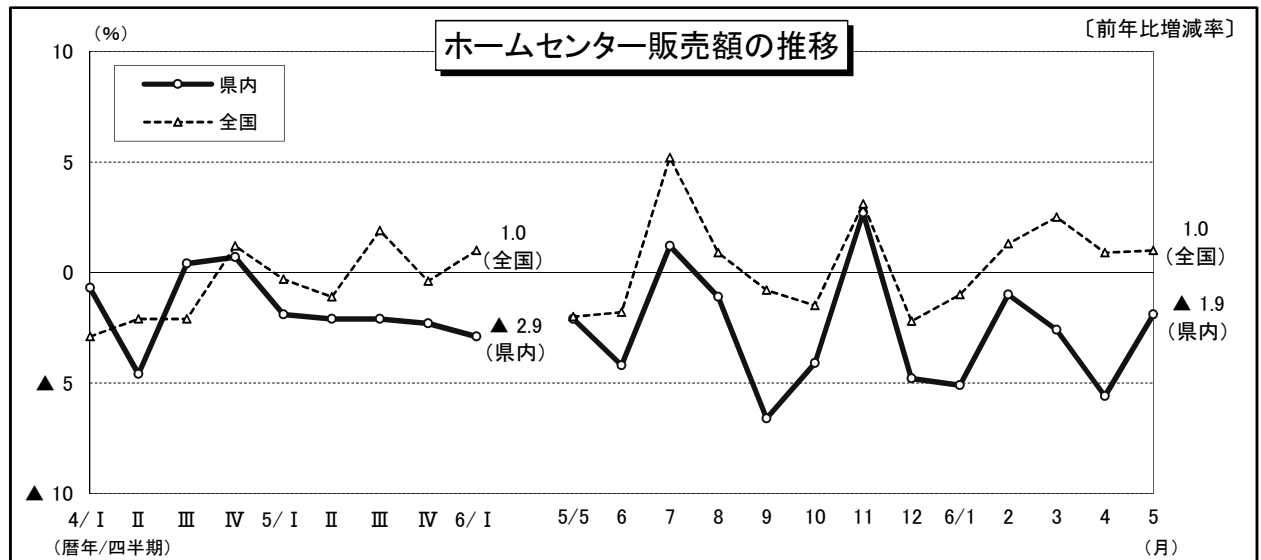
(注)全店ベース。

[資料: 経済産業省]



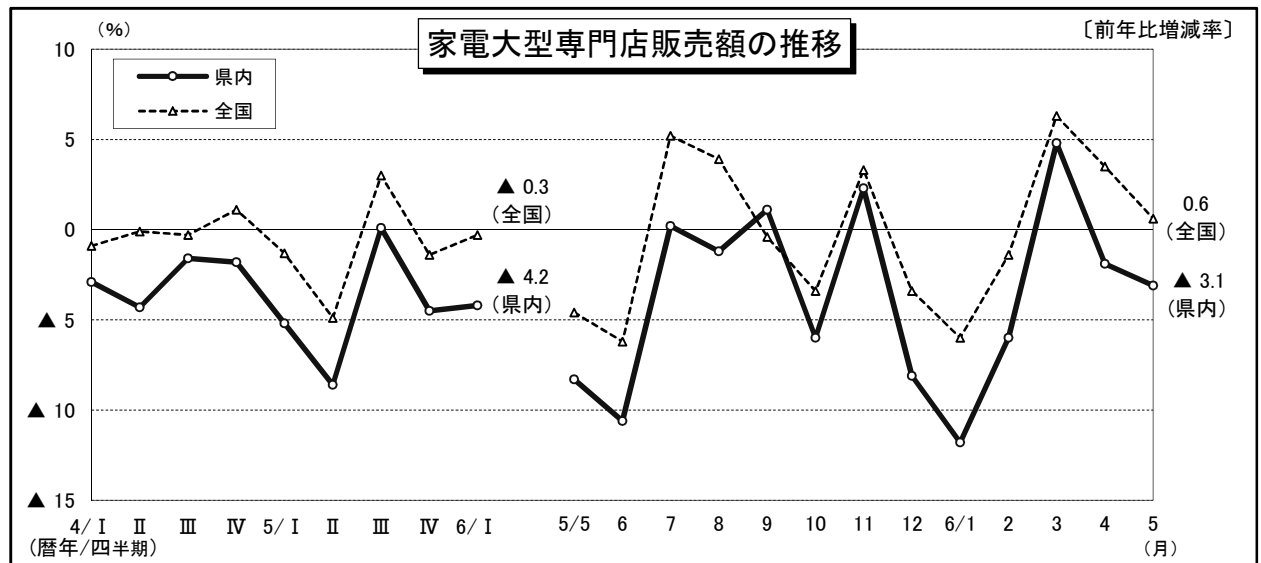
(注)全店ベース。

[資料:経済産業省]



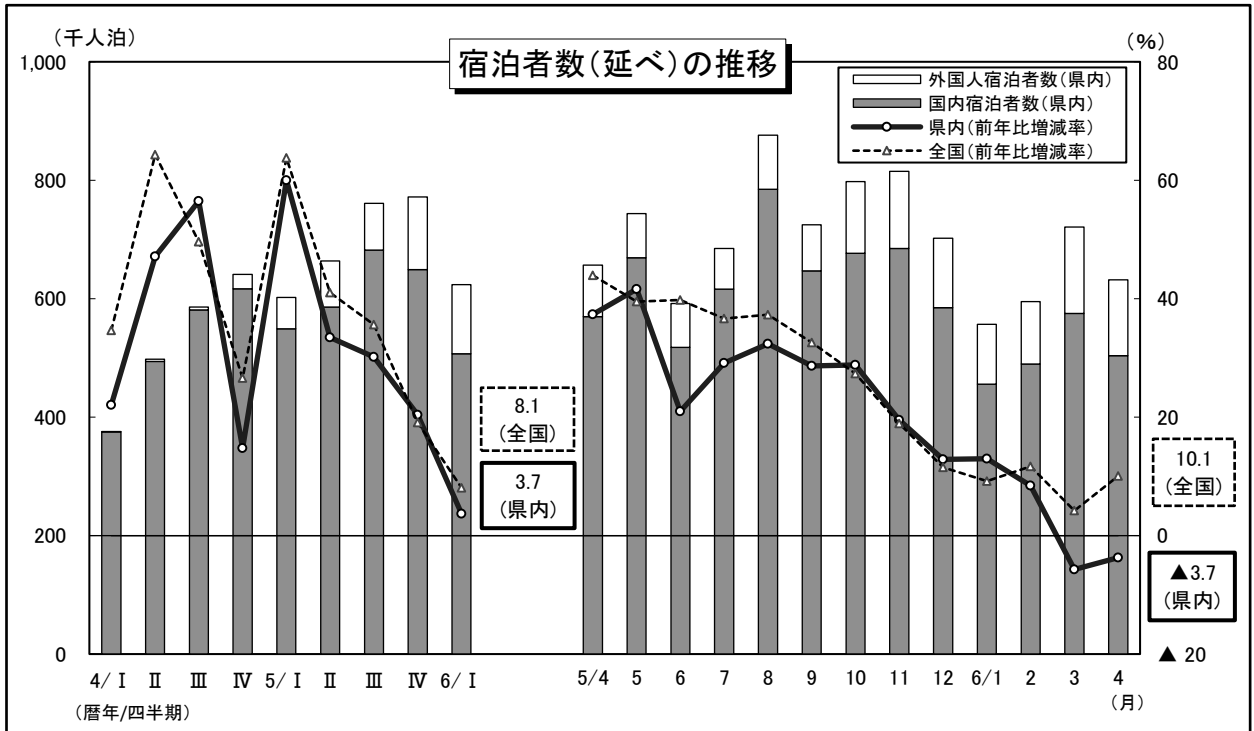
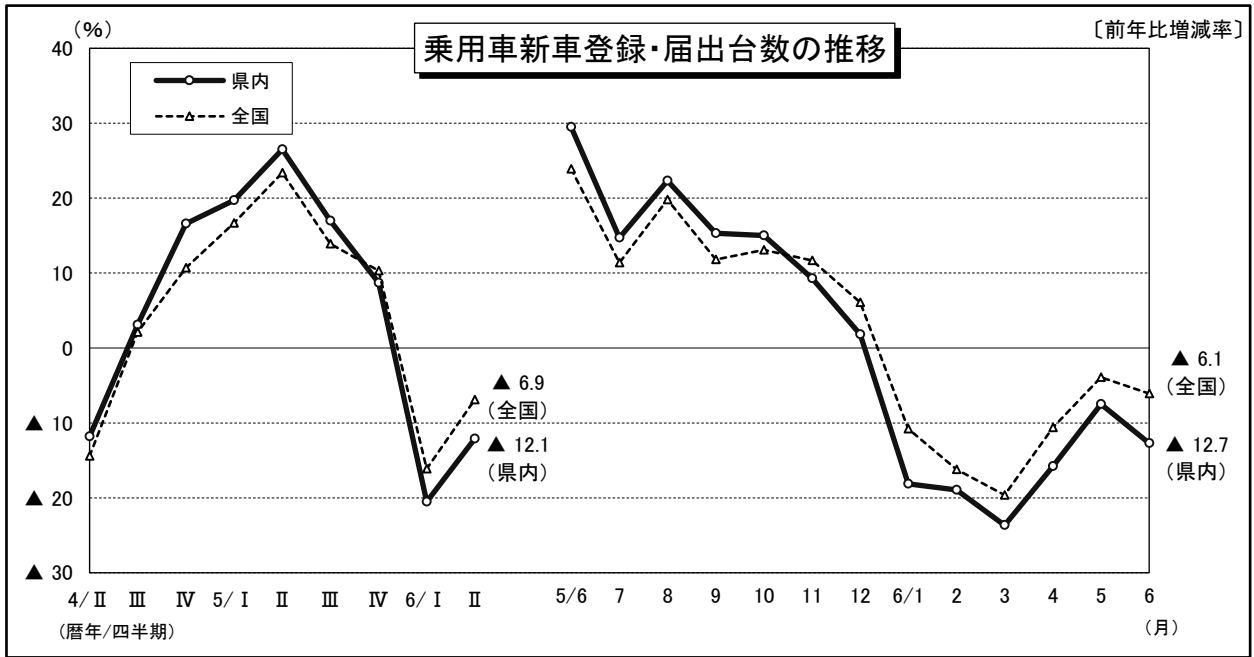
(注)全店ベース。

[資料:経済産業省]



(注)全店ベース。

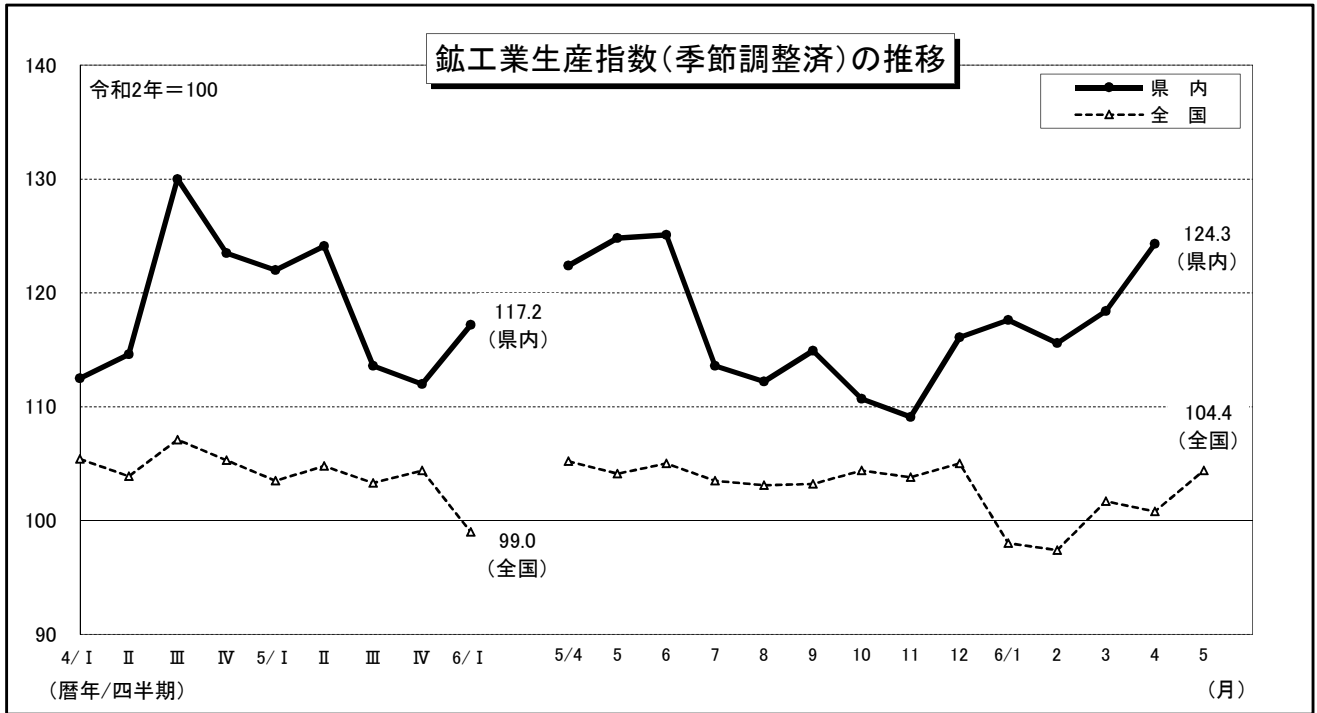
[資料:経済産業省]



(注) 四半期の棒グラフは月平均。

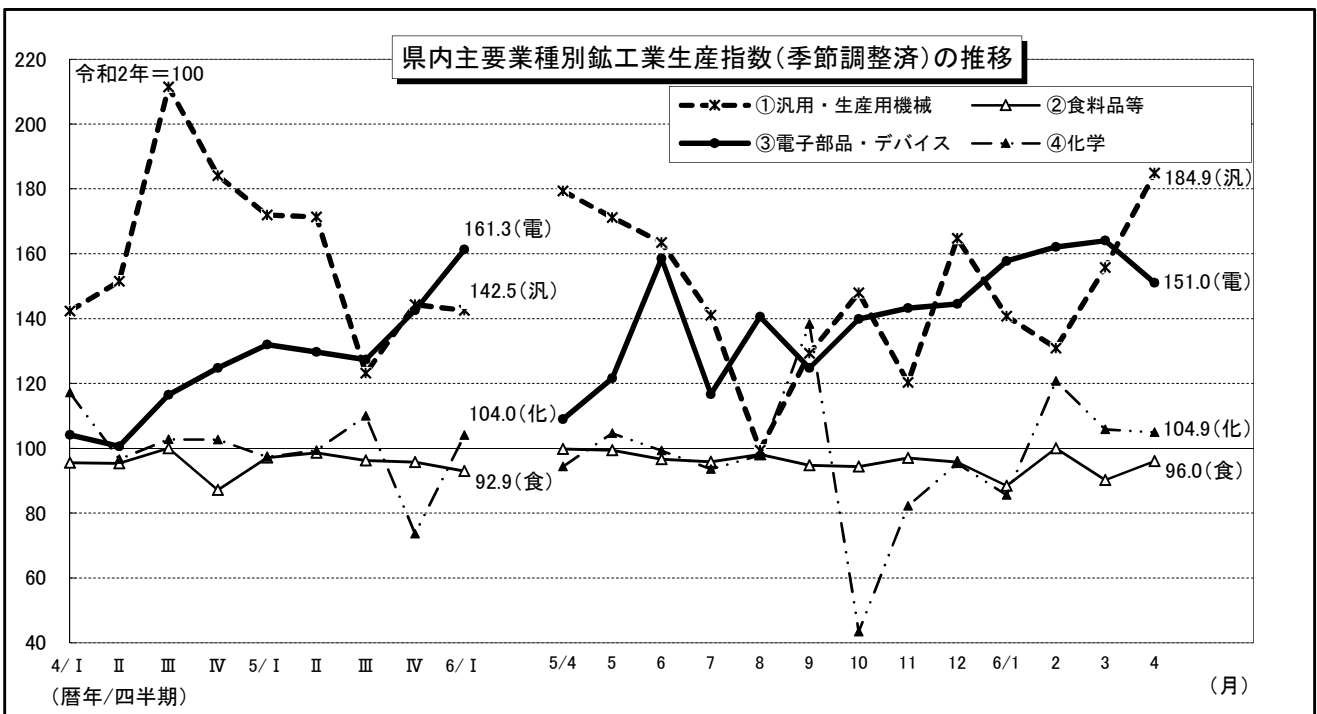


## 2. 生産活動



(注) 県内の6年4月は速報値。

[資料: 経済産業省、熊本県]

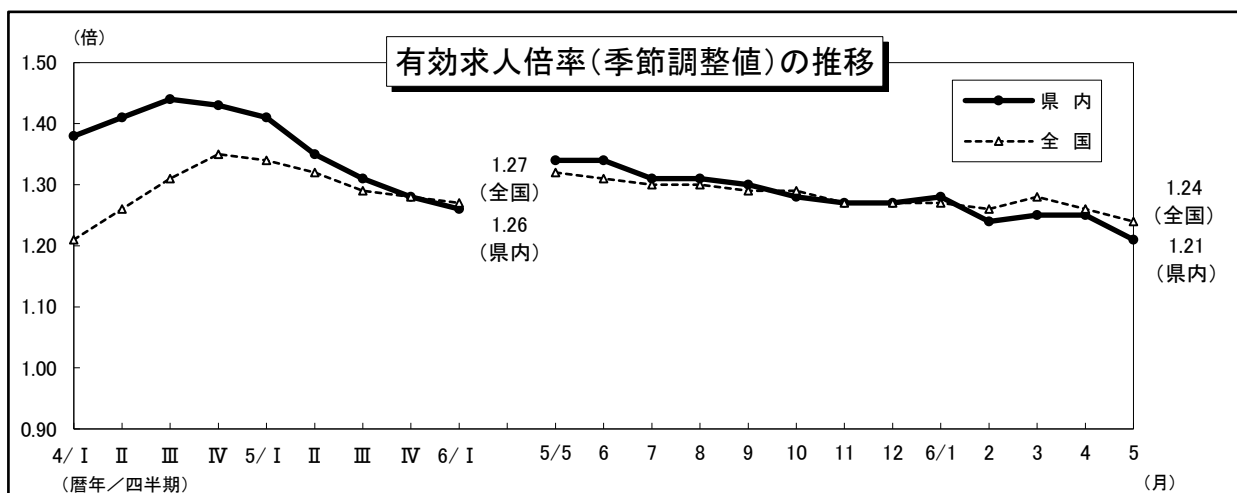


(注) 1. 6年4月は速報値。

2. ○数字は、県内におけるシェア順位。

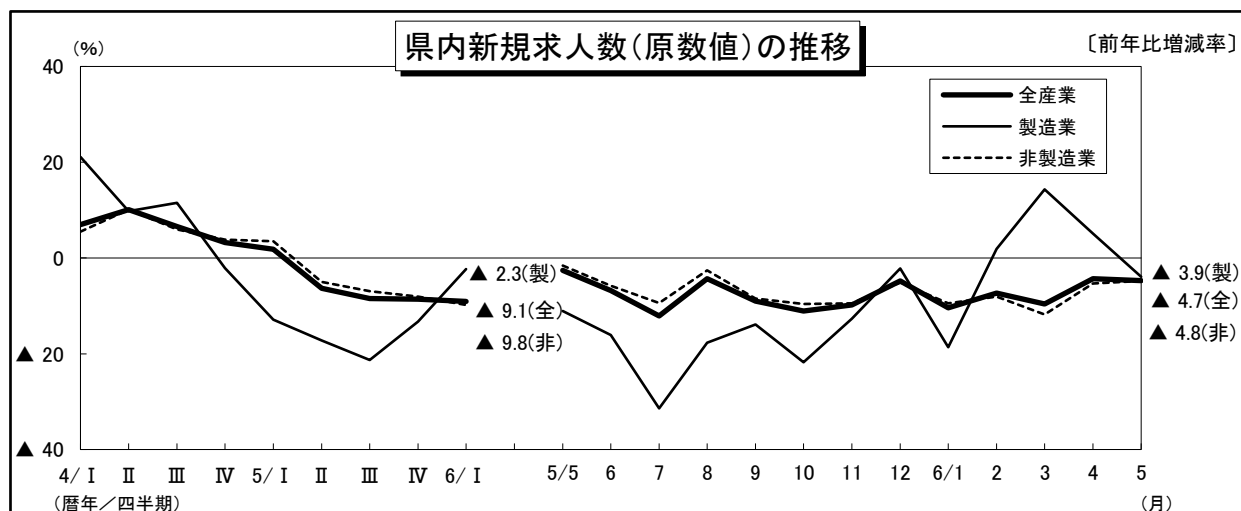
[資料: 熊本県]

### 3. 雇用情勢



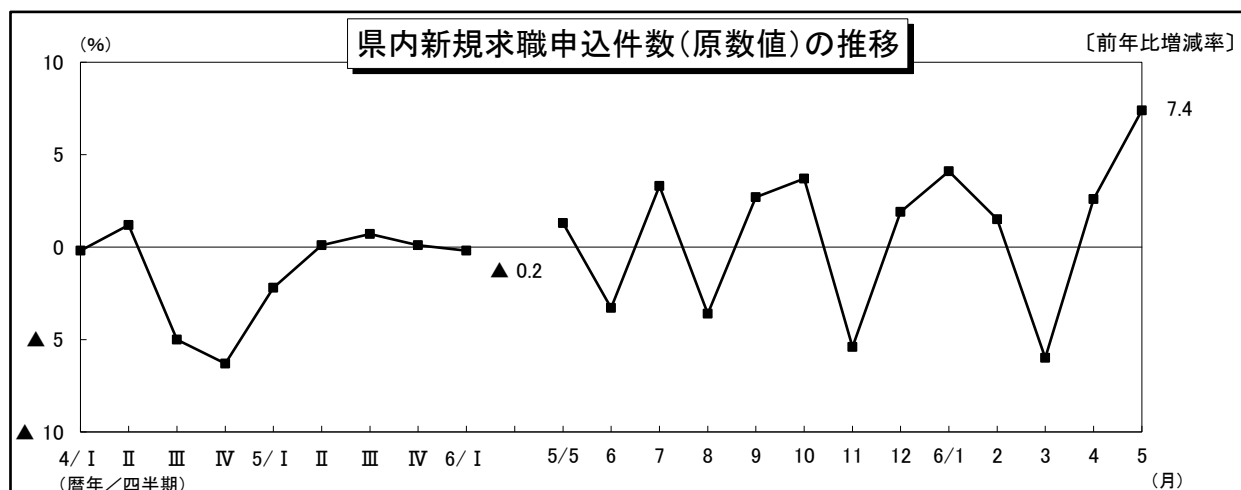
(注)パートを含む。

[資料:厚生労働省]



(注)パートを含む。

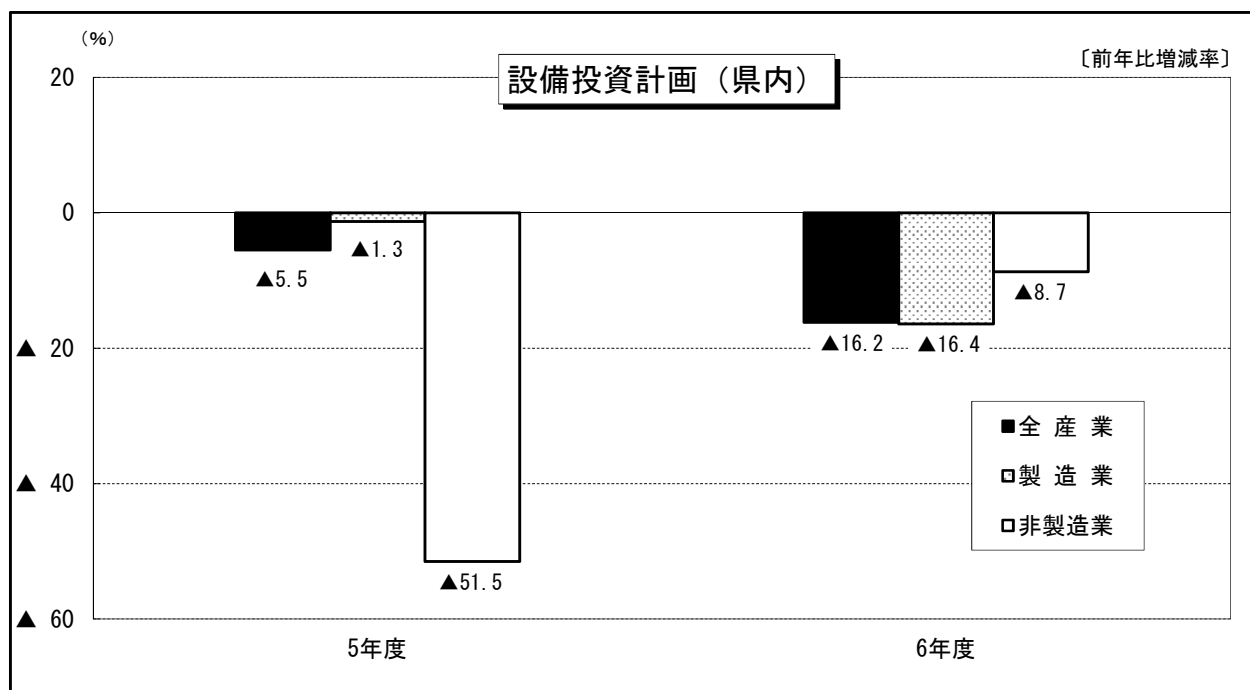
[資料:厚生労働省、熊本労働局]



(注)パートを含む。

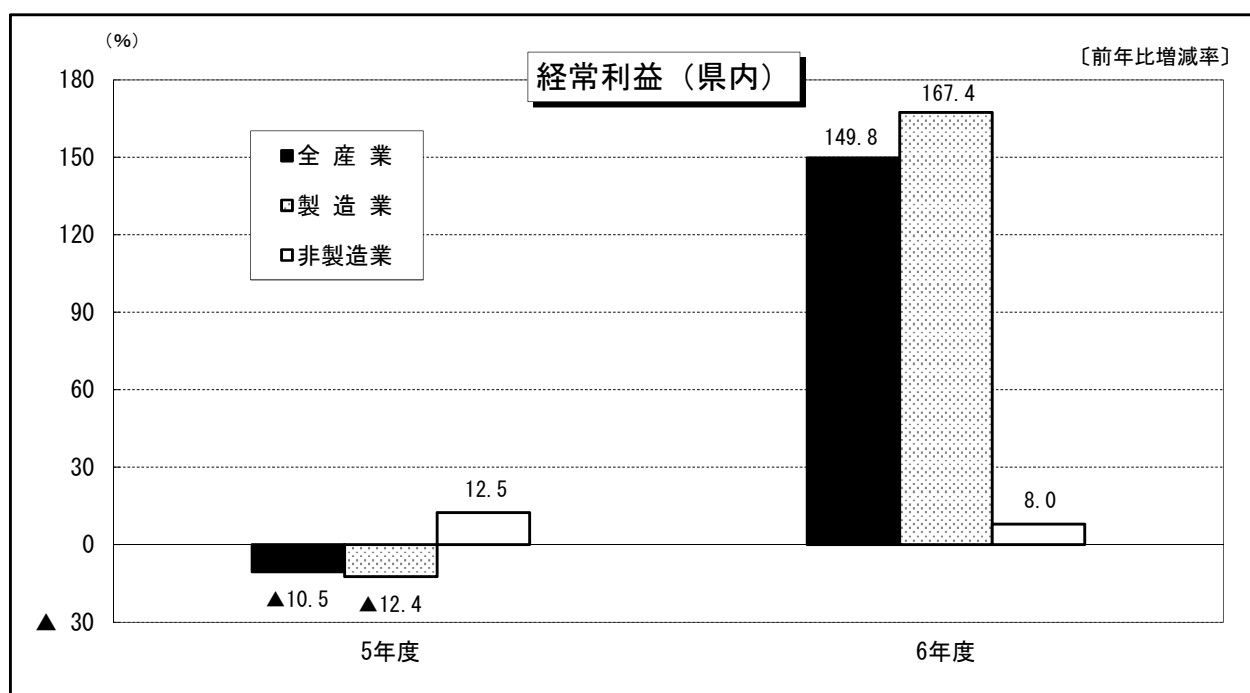
[資料:厚生労働省]

## 4. 設備投資



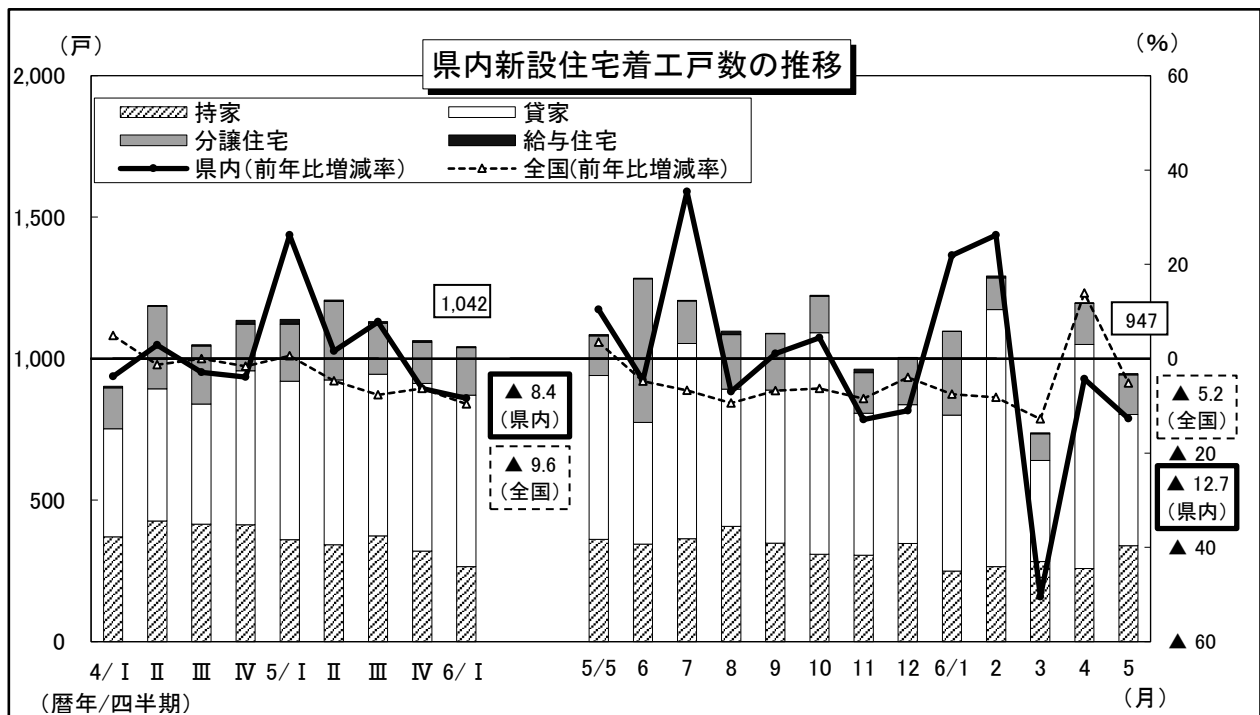
[資料:九州財務局(法人企業景気予測調査)]

## 5. 企業収益



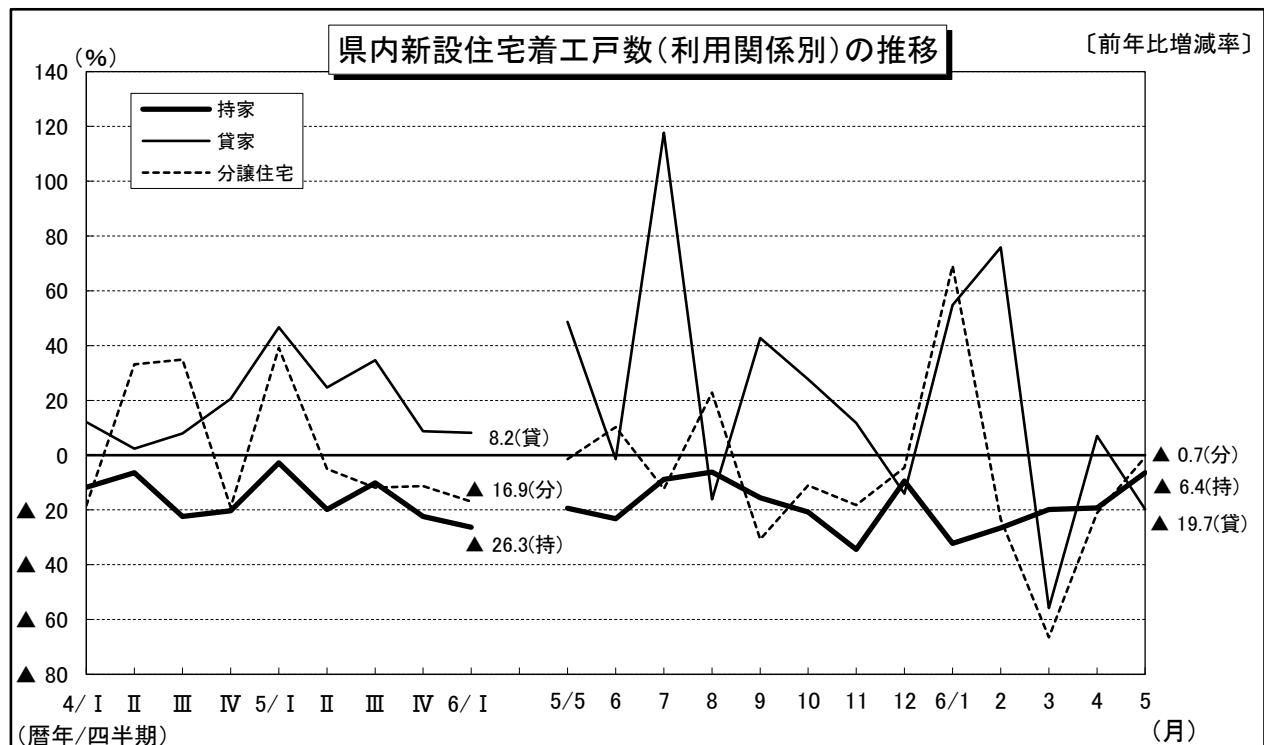
[資料:九州財務局(法人企業景気予測調査)]

## 6. 住宅建設



(注) 四半期の棒グラフは月平均。

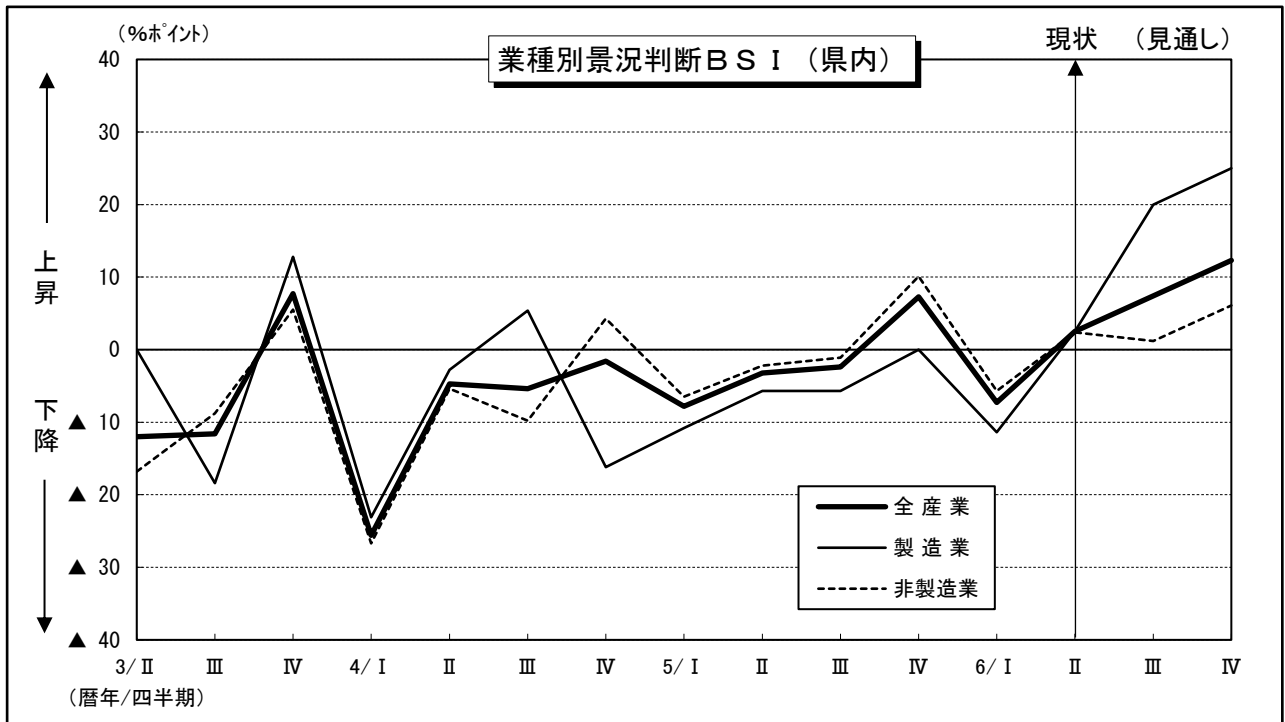
[資料: 国土交通省]



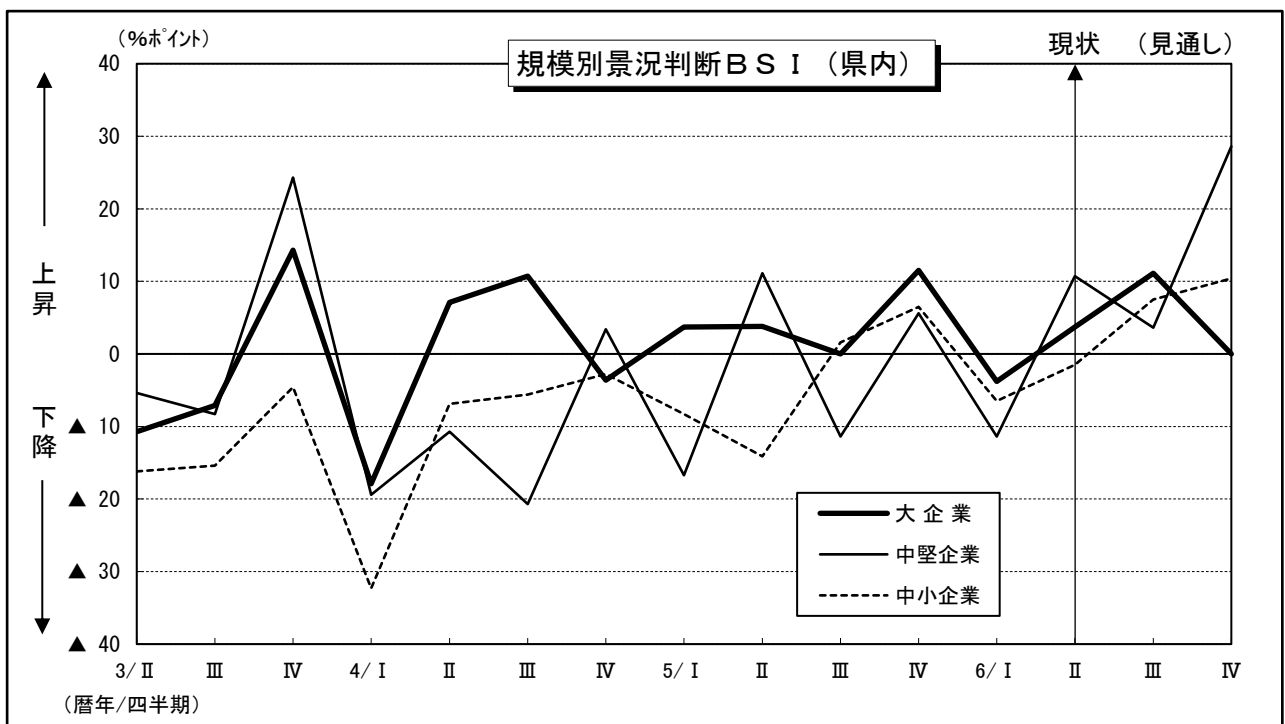
(注) 給与住宅については、些少であるため表記していない。

[資料: 国土交通省]

## 7. 企業の景況感

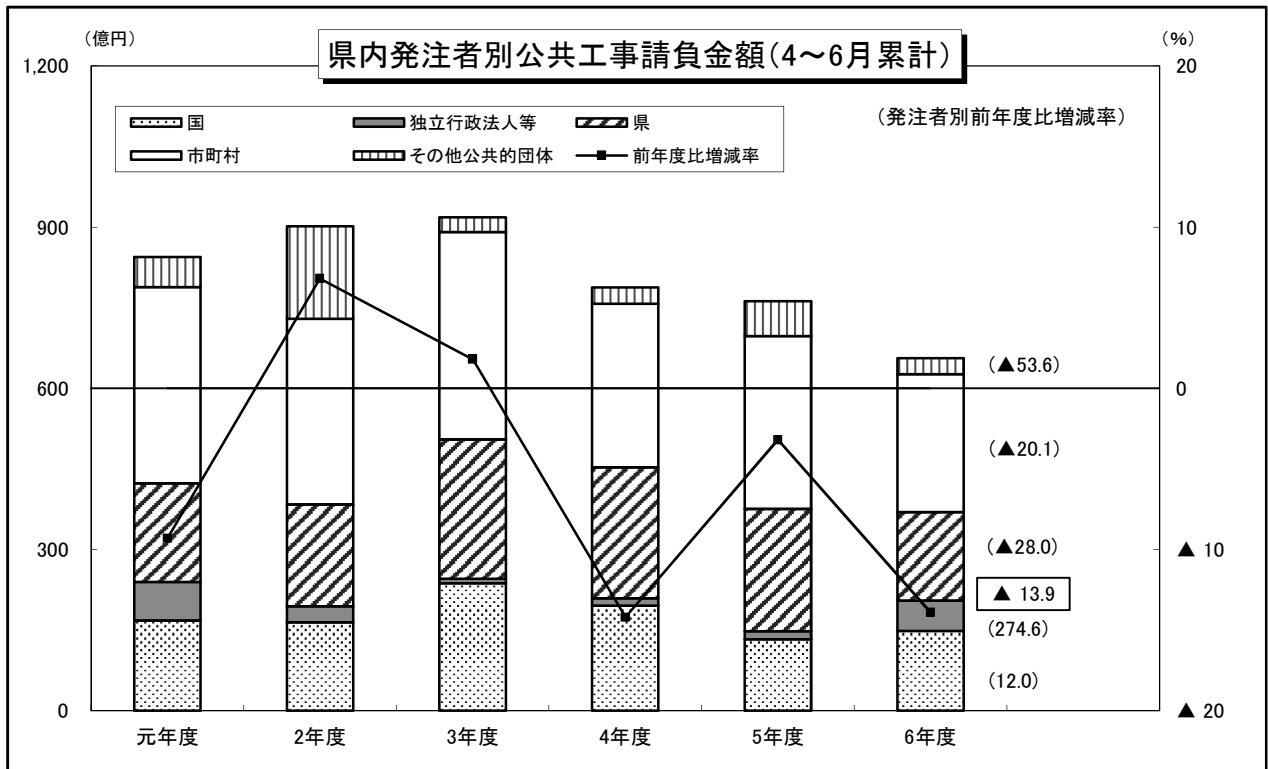


[資料:九州財務局(法人企業景気予測調査)]

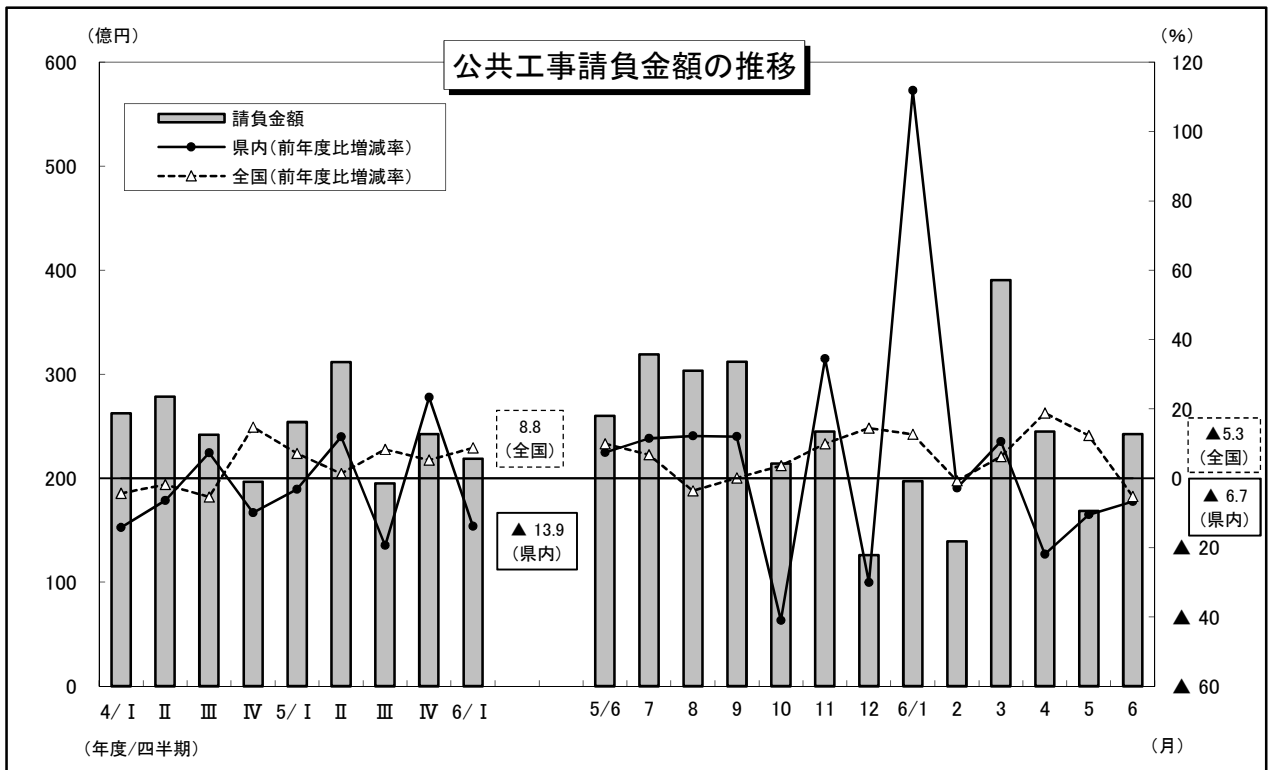


[資料:九州財務局(法人企業景気予測調査)]

## 8. 公共事業



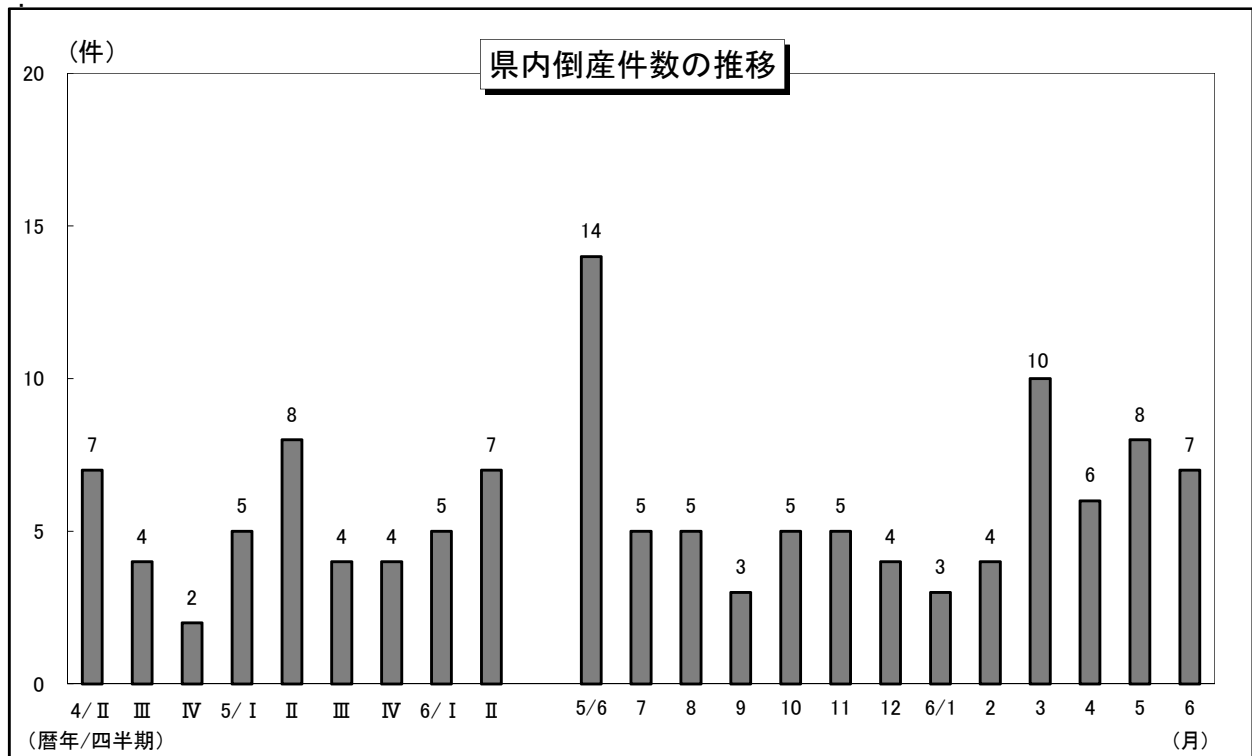
[資料:北海道建設業信用保証(株)、東日本建設業保証(株)、西日本建設業保証(株)]



(注)四半期の棒グラフは月平均。

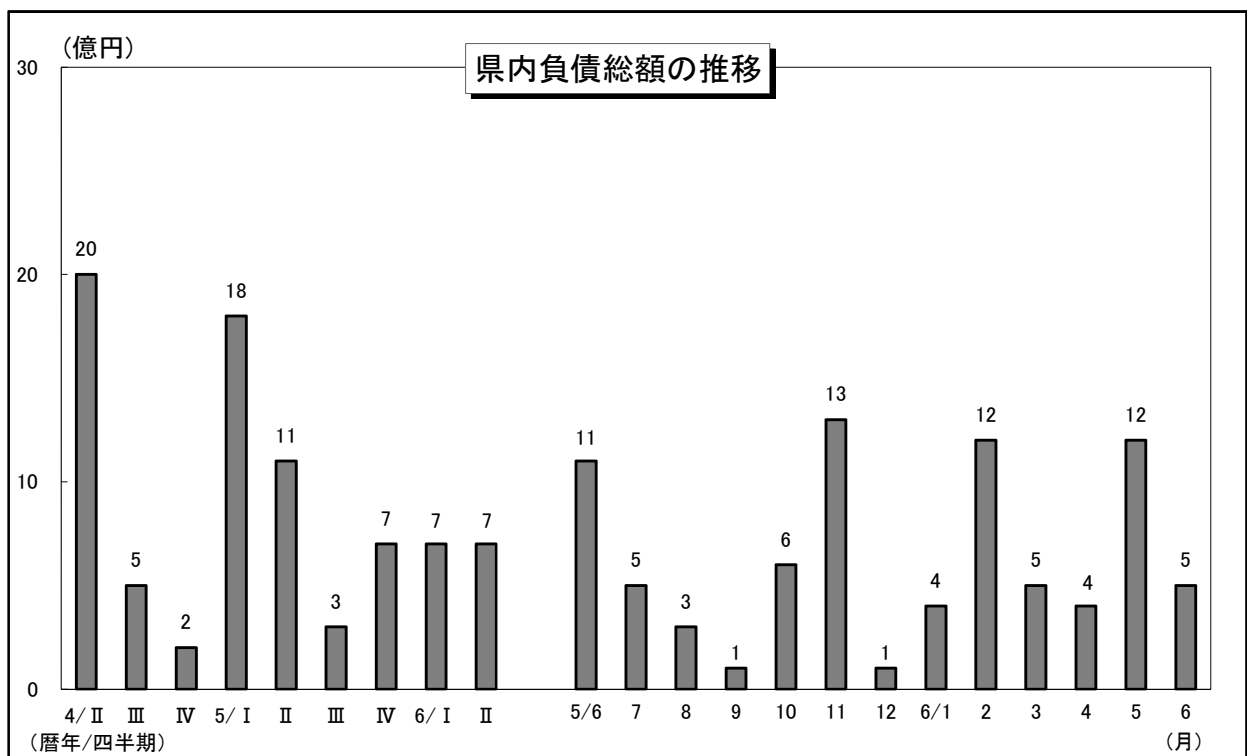
[資料:北海道建設業信用保証(株)、東日本建設業保証(株)、西日本建設業保証(株)]

## 9. 倒産



(注)四半期の棒グラフは月平均。

[資料:東京商工リサーチ]



(注)四半期の棒グラフは月平均。

[資料:東京商工リサーチ]